INAX

保証書付

サティスリトイレ専用手洗カウンター

(レバー式水栓仕様)

GSULI－124YFR(L)、144YFR(L)
124YSR(L)、144YSR(L)

(自動水栓仕様)

GSULI－124AYFR(L)、144AYFR(L)
124AYSR(L)、144AYSR(L)

取扱説明書

**このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。**

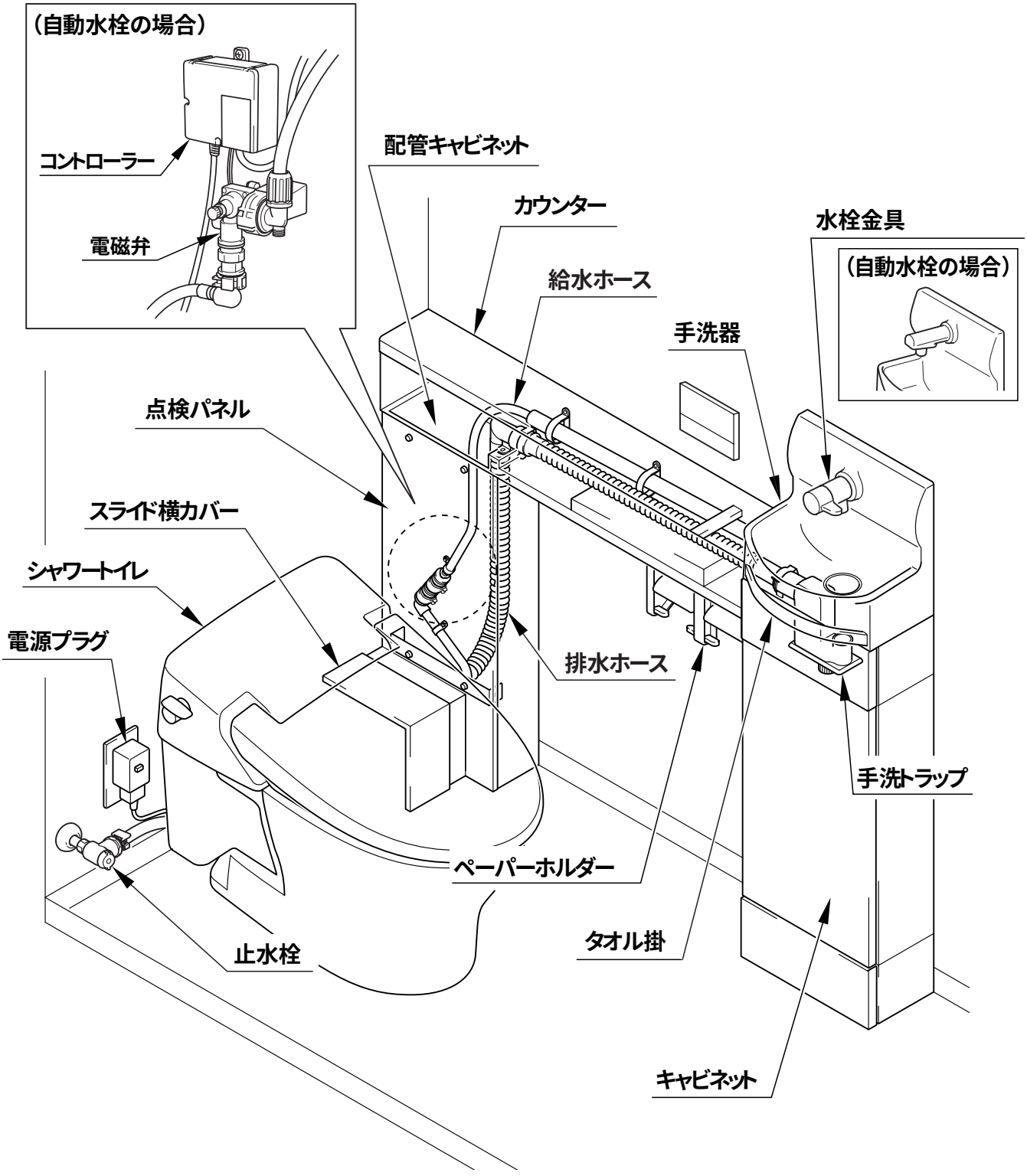
**この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書を
お渡しください。**

もくじ

各部の名称‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1
安全上のご注意‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2
ご使用方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
ご使用上の注意‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8
お手入れ方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 9
長期間使用しない場合‥‥‥‥‥‥‥‥‥12
冬期凍結の恐れがある場合‥‥‥‥‥‥‥14
アフターサービスについて‥‥‥‥‥‥‥15
仕　様‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥18
保証書‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥22

「シャワートイレについてはシャワートイレの取扱説明書をご覧ください。」

●各部の名称



※電源プラグの位置：既設の電源位置によっては配管キャビネットの中となる場合があります。

※手洗水栓用の止水栓は、サティス給水用止水栓と共用になっています。
手洗水栓を止める場合には、サティス給水用止水栓を操作してください。

※シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。（自動水栓の場合）

⚠注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。（自動水栓の場合）

交流１００Ｖ以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。（自動水栓の場合）

⚠注意

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、破損や漏水の恐れがあります。

カウンターや手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。
※変形や破損してケガをする恐れがあります。

カウンターの上に火のついたタバコ等を置かないでください。
※火災の恐れがあります。

手洗器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
（扉の調節方法は 10、11 ページ参照）

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注意

ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので､ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結が予想される場合は、水を抜いてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

タオル掛を無理に引っ張ったり押さえ付けたりしないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

スライド横カバーの上に乗らないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

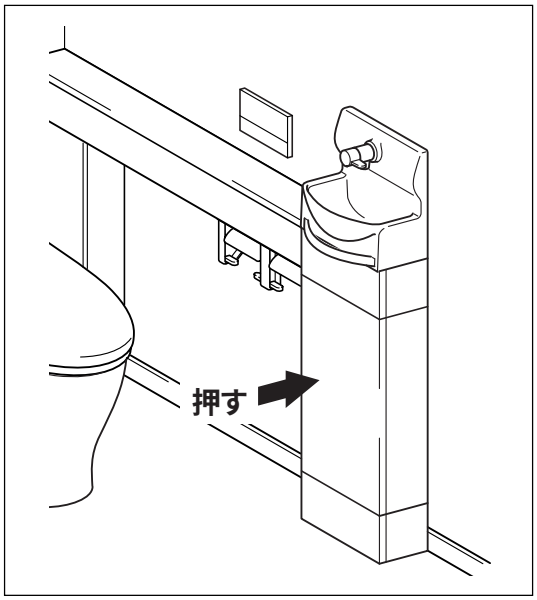
電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

●ご使用方法

シャワートイレについては、シャワートイレの取扱説明書をご覧ください。

■ 扉

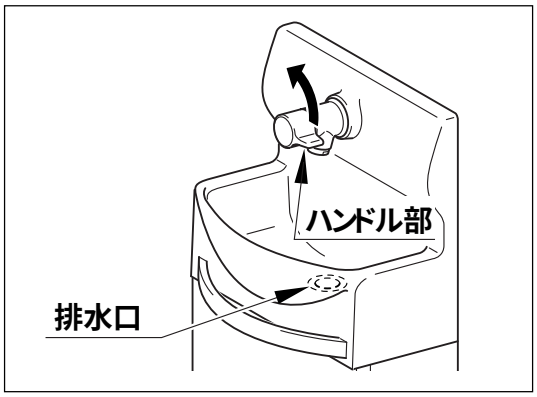
●扉の開閉は、扉の内側中央部（図、矢印部）を押してください。



■ 水栓金具

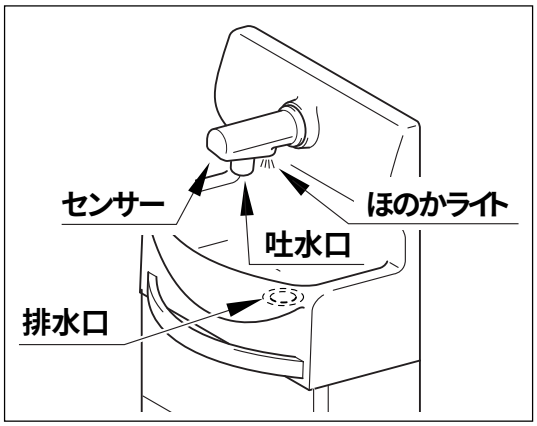
[レバー式水栓の場合]

●ハンドル部を上にまわすと水が出ます。



[自動水栓の場合]

●センサーに手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。
手を引くと約1～2秒後に止水した後、ほのかライトが消灯します。

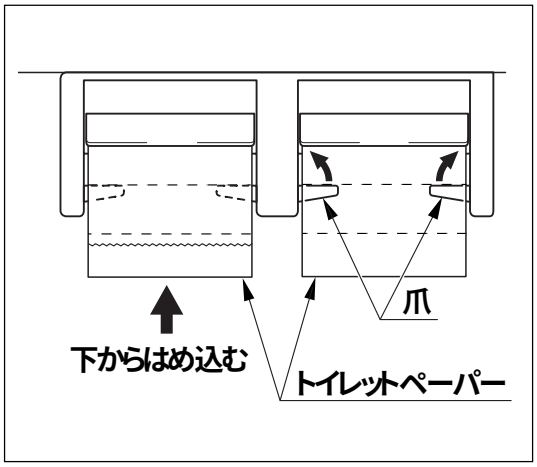


※製品の構造上、手洗吐水時に便器洗浄を行うと手洗吐水が細くなります。
また、便器洗浄時に排水口内の水位が上昇することがあります。

■ ペーパーホルダー

●トイレットペーパーはペーパーホルダー下からはめ込んでペーパーホルダーの爪にセットしてください。

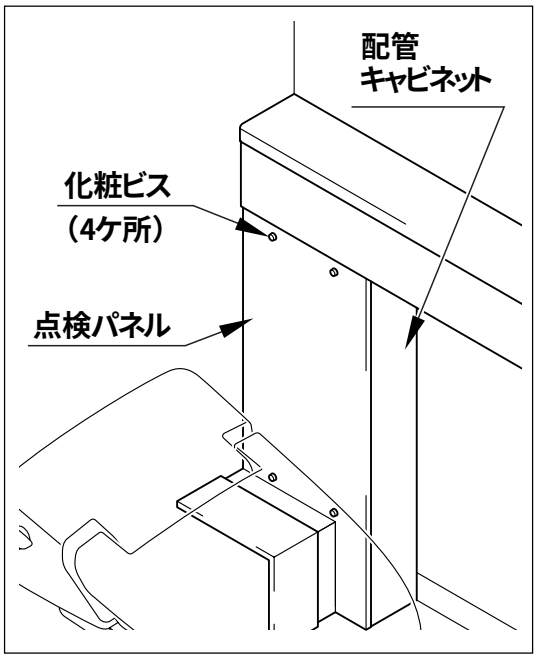
※間違ってトイレットペーパーを逆向きにはめてしまったときは、ペーパーホルダーの爪をトイレットペーパーの芯の中で上にたたみながら、トイレットペーパーを芯から外してください。



■ 点検パネル

●点検パネルを開ける場合は化粧ビスを手で回して外してください。

※点検パネルを開ける場合とは、電源プラグの点検、手洗給水ホースの水抜きなどの場合です。

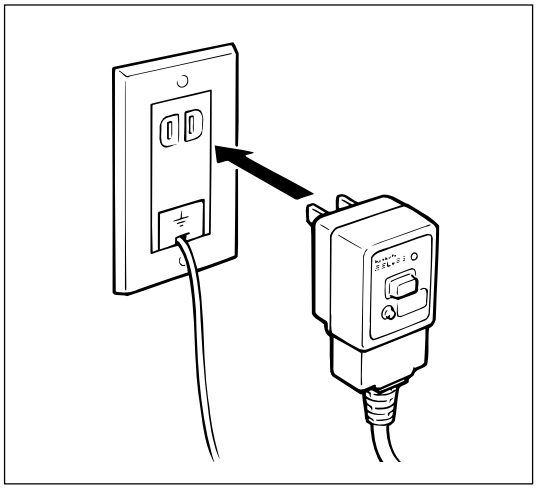


■ 電源プラグの点検

●電源プラグのほこりは１年に１回程度掃除してください。

⚠注意	注意を怠ると火災や感電の原因になります。

※既設のコンセント位置によって配管キャビネット内となる場合があります。その時は点検パネルを開けて点検を行ってください。



●ご使用上の注意

■ 故障を起こさないために守ってください。

キャビネットを水洗いしないでください。また水をこぼしたりした際は、すぐに乾いた布でふきとってください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※排水管が詰まり汚水があふれる恐れがあります。

扉は静かに開閉してください。
※商品が破損する恐れがあります。

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み痛む恐れがあります。

本体およびカウンターに堅いものを落としたり、衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

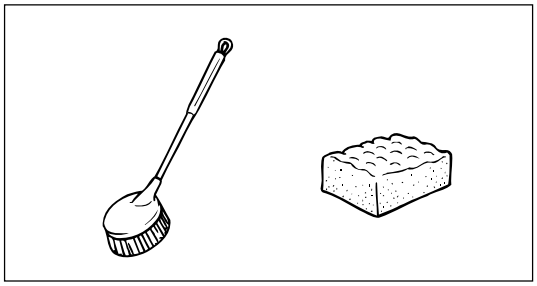
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットやカウンターを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

●お手入れ方法

キャビネットは手入れせず放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく部品によっては使用に不具合を生じる場合があります。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

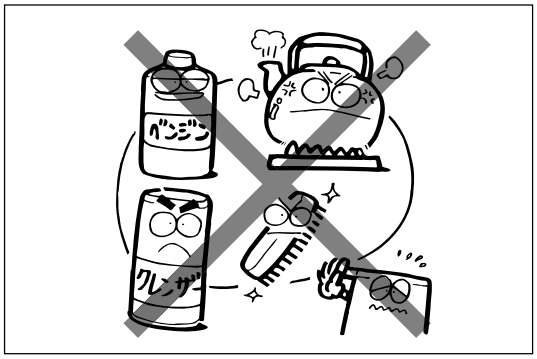
シャワートイレのお手入れは、シャワートイレの取扱説明書をご覧ください。

●手洗器のお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて中性洗剤と水、またはぬるま湯で洗ってください。熱湯を手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。
※詳細については“ プロガードお手入れ読本 ”をお読みください。



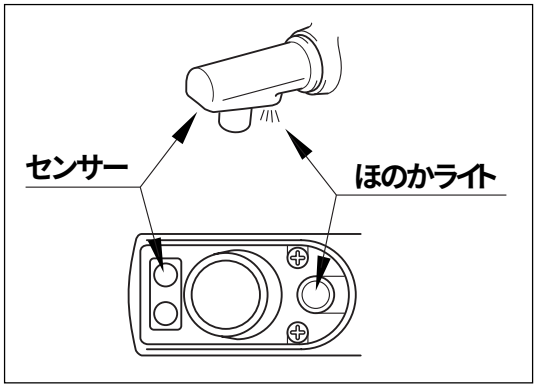
●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

●表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤
- 酸、アルカリ
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布



●カウンターの上にアルコール系薬品や酸性系洗剤を置かないでください。
※変質の恐れがあります。

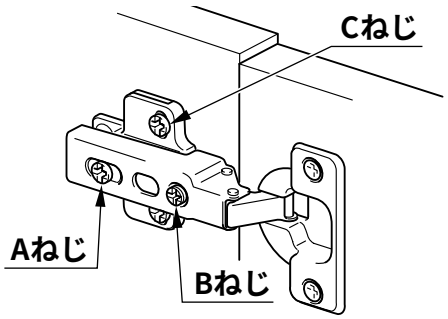
●水栓やセンサー、ほのかライトの表面の汚れは、適当に薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふきとってください。
※水栓やセンサー、ほのかライトの表面についた洗剤はよくふきとってください。



■ パネルの調節

スライド蝶番の調節

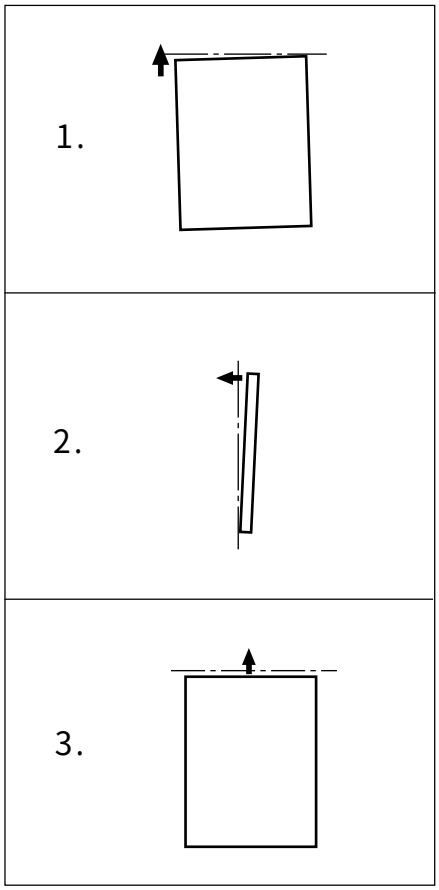
●扉のスライド蝶番（ストッパー付き）を調節する際はＡねじ、Ｂねじ、Ｃねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
調節後は必ずＡねじ、Ｃねじが固く締め付けてあることを確認してください。



1. 扉の先端を上に上げるとき
 1）扉下方の蝶番のＢねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のＢねじを右へ回して調節します。
 2）扉を閉めて確認します。
 3）正しい位置になるまで 1）、2）をくり返します。

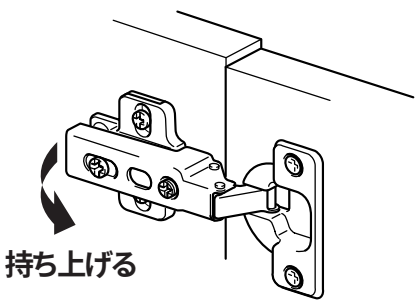
2. 扉と側板のすき間が上下違うとき
 1）扉上方の蝶番のＡねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
 2）正しい位置でＡねじを右へ回して締め付けます。

3. 扉の高さが上下にずれているとき
 1）扉の上下の蝶番のＣねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
 2）正しい位置でＣねじを右へ回して締め付けます。



扉の外し方

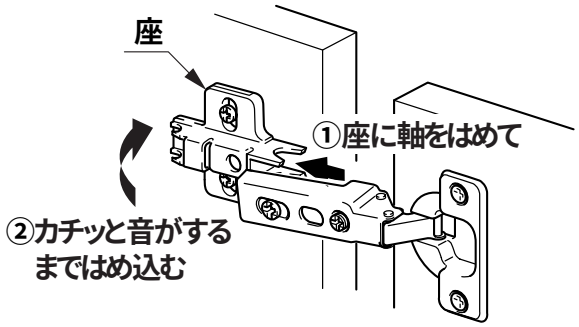
●スライド蝶番の奥を持ち上げるとワンタッチで外せます。



扉の取り付け方

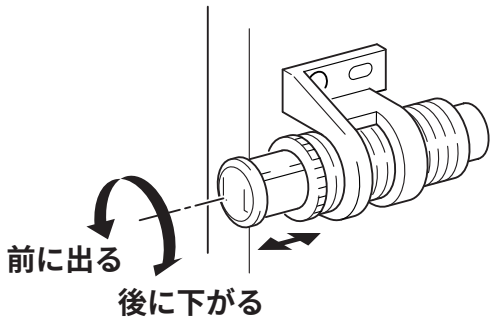
1）扉側蝶番の軸をキャビネット側の座にはめ込みます。
2）蝶番の奥をカチッと音がするまではめ込みます。

扉は確実に取り付けてください。
※扉の落下等でケガをする恐れがあります。



マグネット式プッシュラッチの調節

●扉のマグネット式プッシュラッチを調節するには、プッシュラッチの先端を回して前後させ調節してください。



●長期間使用しない場合（本体内の水の汚れや凍結による破損の防止）

以下の場合は水抜きを必ず行ってください。

●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）

●別荘などで、使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

シャワートイレについては、シャワートイレの取扱説明書をご覧ください。

■ 給水の停止および水抜き

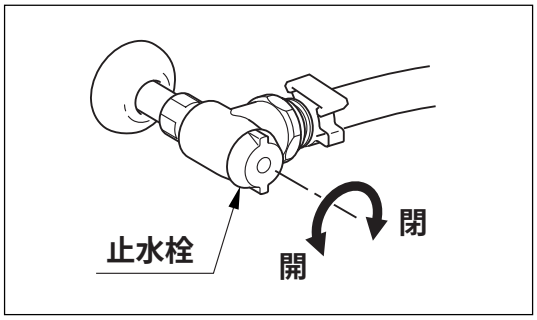
[レバー式ハンドルの場合]

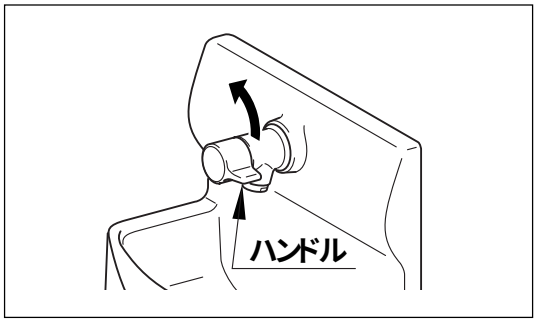
1、止水栓を操作して手洗器への給水を止めます。
※止水栓の開閉は右図の通りです。
※手洗水栓用の止水栓は、サティス給水用止水栓と共用になっています。
（床給水時は、止水栓は配管キャビネット内にあります）

2、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書の P.54,「水抜きおよび電源の取外し」1 ～ 4 の操作を行います。）

3、水栓ハンドルを操作して、水栓金具内の水を抜きます。

4、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書の P.54,「水抜きおよび電源の取外し」5 ～ 6 の操作を行います。）





[自動水栓で寒冷地仕様の場合]

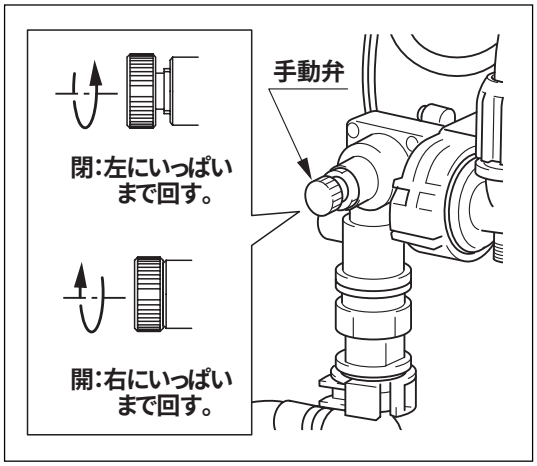
1、止水栓を操作して手洗器への給水を止めます。

2、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書の P.54,「水抜きおよび電源の取外し」1 ～ 4 の操作を行います。）

3、配管キャビネット内の電磁弁に付いている手動弁を開ける。（右にいっぱいまで回す）

4、10 秒程経ってから手動弁を再び閉じる。（左にいっぱいまで回す）

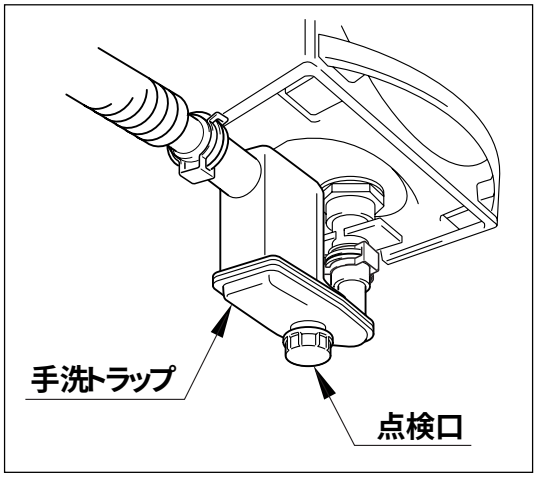
5、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書の P.54,「水抜きおよび電源の取外し」5 ～ 6 の操作を行います。）



■ 特に凍結の恐れがある場合 注意

●手洗トラップ下部の点検口を開け水を抜き、不凍液を入れてください。

※水を抜いただけにしておきますと、排水管から臭気が上がってきます。



■ 再び使用する場合（試運転）

●止水栓を操作して手洗器への給水を行います。

※止水栓は全開にしてください。

※止水栓の操作方法はシャワートイレ取扱説明書を参照してください。

●冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処理を行ってください。
※凍結した場合、手洗い給・排水管が破損する原因になります。

シャワートイレについては、シャワートイレの取扱説明書をご覧ください。

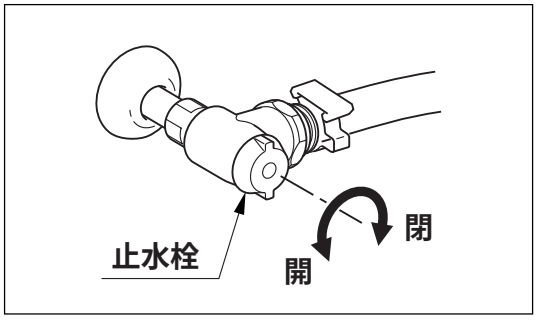
■ 凍結防止方法

●室内を暖房して、手洗い給、排水まわりを凍結させないようにしてください。
もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で水を抜いてください。

[レバー式水栓の場合]

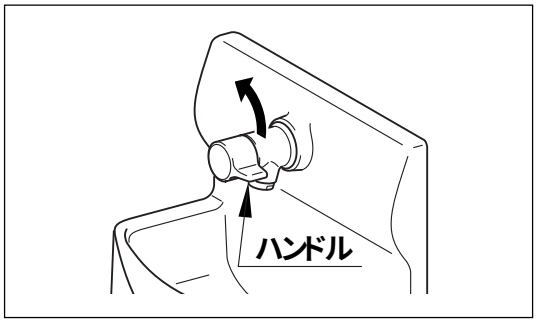
（便器が一般地・水抜仕様の場合）

1、止水栓を操作して手洗器への給水を止めます。
※止水栓の開閉は右図の通りです。
※手洗水栓用の止水栓は、サティス給水用止水栓と共用になっています。
（床給水時は、止水栓は配管キャビネット内にあります）



2、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書のP.56「水抜栓による凍結防止方法」1～4の操作を行います。）

3、水栓ハンドルを操作して、水栓金具内の水を抜きます。

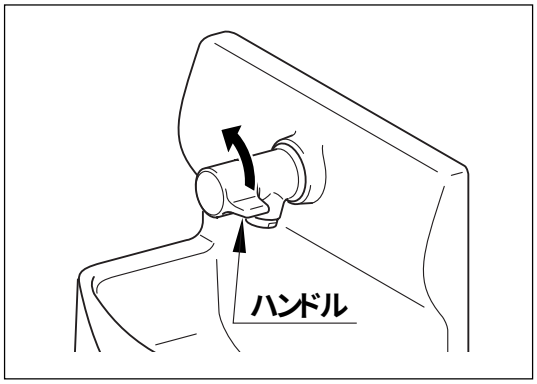


4、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書のP.56「水抜栓による凍結防止方法」5の操作を行います。）

（便器が流動式便器の場合）

1、シャワートイレの流動ハンドルをまわします。
（シャワートイレ取扱説明書のP.56「流動式便器を使用している場合の凍結防止方法」をご覧ください。）

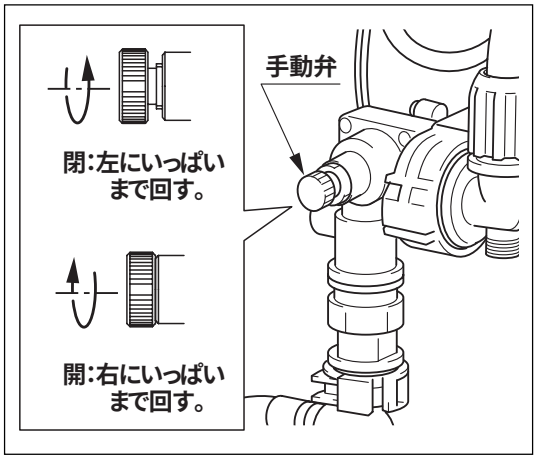
2、水栓ハンドルを操作して、60リットル/時間程度の水が流れ続けるようにしてください。



[自動水栓で寒冷地仕様の場合]

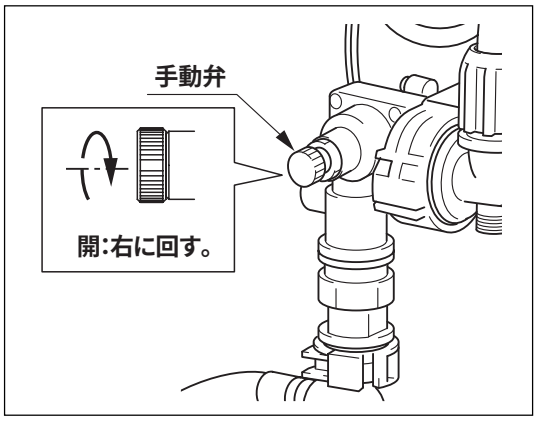
（便器が一般地・水抜仕様の場合）

1、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書のP.56「水抜栓による凍結防止方法」1～4の操作を行います。）
2、配管キャビネット内の電磁弁に付いている手動弁を開ける。（右にいっぱいまで回す）
3、10秒程経ってから手動弁を再び閉じる。（左にいっぱいまで回す）
4、シャワートイレの水抜きを行います。（シャワートイレ取扱説明書のP.56「水抜栓による凍結防止方法」5の操作を行います。）



（便器が流動式便器の場合）

1､シャワートイレの流動ハンドルをまわします。（シャワートイレ取扱説明書のP.56「流動式便器を使用している場合の凍結防止方法」をご覧ください。）
2、配管キャビネット内の電磁弁に付いている手動弁を右に回して開け､水栓金具から60リットル/時間 程度の水が流れ続けるようにしてください。

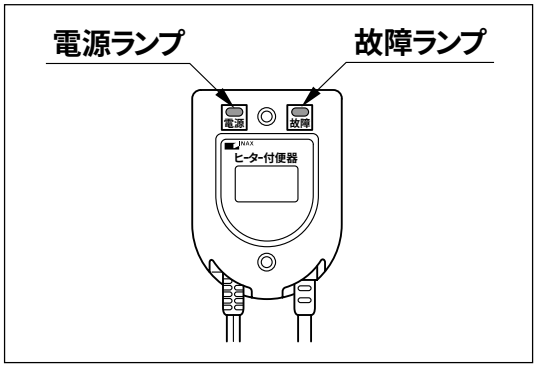


■ ヒーター付便器の凍結防止方法

●電源プラグをコンセントに差し込み､電源ランプが点灯､故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。



■ もし凍結して水栓から水が出なくなったら

●万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、水栓から水が出ない場合は、温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損する恐れがあります。

●アフターサービスについて

■ 修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店にご相談ください。

●“ 取扱説明書 ”どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

■ 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの。

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■ 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付日より 2 ケ年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■ 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、巻末に記載の（株）INAX メンテナンス（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “ 技術料 ” + “ 出張料 ” + “ 部品代 ” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■ 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 6 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

■ アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（巻末のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

■ 仕様表

	仕　　様
型　　式	サティスリトイレ専用手洗カウンター
手　洗　器	陶器製　プロガード仕様　BN8
水　栓　金　具	レバー式水栓または自動水栓
キャビネット	ポリエステル化粧合板　PW、MMの2色対応
巾木、幕板	アルミ製
手洗いカウンター	木　　製
タオルバー	アルミ製
ペーパーホルダー	樹脂製　　抗菌仕様

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番 サティスリトイレ専用手洗カウンター		
保証期間 取付日より 2 ケ年		
保証書番号		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ	様
	おところ	おでんわ (　　)　ー

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、巻末を参照して、（株）INAX メンテナンス（フリーダイヤルをご利用ください）にご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   （1）使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
   （2）温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
   （3）お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
   （4）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
   （5）消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
   （6）本書の提示がない場合
   （7）本書に取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。
従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店またはもよりの当社支社・営業所にお問い合わせください。
修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6 ケ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社 INAX
愛知県常滑市鯉江本町　〒 479-8585
TEL：(0569) 35-2700（代表）

株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

(株)INAX「お客さま相談センター」
TEL. 0120-1794-00
FAX. 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日　10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
(株)INAX メンテナンス

365日受付&修理

TEL. 0120-1794-11

受付時間　9:00～22:00

FAX. 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

GSU-0057（02071）